

『営農アンケート』集計結果の説明

～舞川・撫川・奥西川 地区集計～

1

令和3年2月15日
香南市農林水産課

『営農アンケート』集計結果の説明目的

- 営農アンケートの結果を地区会合の参加者間で共有し、**地区での共通課題を参加者で確認**する。
 - 農地所有者や農業者の年齢構成を知り、後継者の有・無を含め、今後の地区の農業継続性の現状を理解する。
 - 農業者や農地所有者の農地の現状認識を確認する。
 - 持続可能な農業に向けての考え方の傾向を共有する。
- アンケートの内容をできるだけ可視化し、地区の会合で**活発な議論を呼ぶ材料**とする。
 - 自由記述意見をコメントとして記述し、できるだけ生の声を再現する。

注) 営農アンケートの利用について

- ① アンケートでご回答いただきました内容は、『人・農地プラン』事業関係の事項に利用させていただき、他の目的では使用しません。
- ② 地区の会合等でアンケートの集計結果のまとめを説明する際に、お名前などを含めてプライベートな事項は出ないように処理したうえで、コメントを利用させていただきます。

地区の皆さま、ご了承をお願いいたします。

『営農アンケート』の概要

- 目的：人農地プランの策定に向けて、農地所有者、後継者、耕作者の現状、今後の営農の意向を把握する。
- 対象：香南市にある農地の所有者、後継者、耕作者
- 方法：郵送でのアンケートへの回答、または農業委員・推進委員による戸別訪問での聞き取り
- 使用データ：農家台帳（令和元年12月16日時点）
- 件数：宛先不明等を除いた実質 5,864件 （総数 7,302件）
- 実施：令和元年12月～令和2年7月
- 回収終了：令和2年9月23日
- 回収件数：3,330件 （56.8%）
- 面積：1520ha （64.4%）

撫川・舞川・奥西川地区の営農アンケート回収状況

5

(注) 農業委員・農地利用最適化推進委員による個別訪問調査も含む。

- 103通送付し返信数は57通であり、返信率55.3%となった。
- 返信者の農地所有面積集計では、地区全体の51.6%となった。

表1) 地区別返信率 (人数)

No.	地域	実質数	返信数	返信率
1	佐古	303	185	61.1%
2	西野・大谷・深淵	560	319	57.0%
3	下井・上岡	314	208	66.2%
4	東野	433	216	49.9%
5	富家	285	156	54.7%
6	香宗	235	143	60.9%
7	吉原	290	146	50.3%
8	古川	200	130	65.0%
9	赤岡	174	118	67.8%
10	徳王子・岸本	592	344	58.1%
11	山南	484	266	55.0%
12	山北	380	203	53.4%
13	西川	247	140	56.7%
14	東川	209	113	54.1%
15	舞川・撫川・奥西川	103	57	55.3%
16	西山・坪井	397	231	58.2%
17	十ノ木・上夜須	181	95	52.5%
18	夜須川・細川・国光	207	124	59.9%
19	羽尾	36	26	72.2%
20	手結山	234	110	47.0%
	合計	5,864	3,330	56.8%

表2) 地区別返信率 (面積)

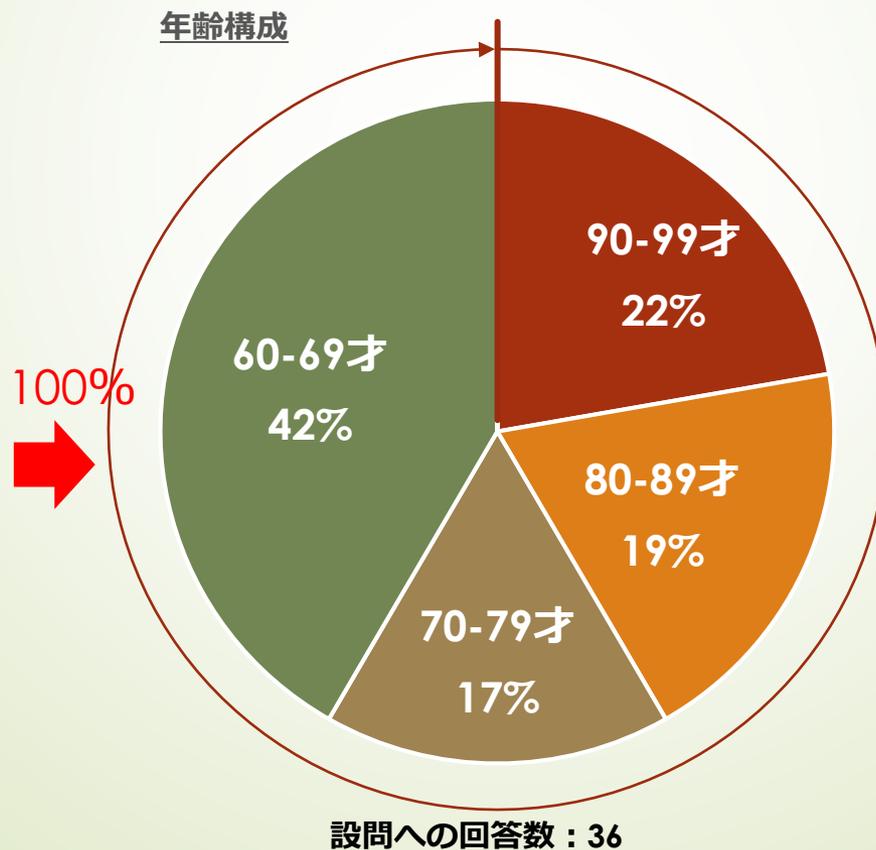
No.	地域	現況面積(m ²)	返信(m ²)	返信面積比率
1	佐古	1,297,261	744,122	57.4%
2	西野・大谷・深淵	2,360,164	1,572,798	66.6%
3	下井・上岡	1,314,818	908,980	69.1%
4	東野	1,825,753	1,048,214	57.4%
5	富家	925,220	618,222	66.8%
6	香宗	739,417	455,440	61.6%
7	吉原	809,809	424,597	52.4%
8	古川	437,288	260,175	59.5%
9	赤岡	580,401	450,114	77.6%
10	徳王子・岸本	3,020,829	2,228,900	73.8%
11	山南	2,365,532	1,459,258	61.7%
12	山北	1,749,997	1,196,689	68.4%
13	西川	1,107,364	738,328	66.7%
14	東川	777,707	485,386	62.4%
15	舞川・撫川・奥西川	277,516	143,200	51.6%
16	西山・坪井	1,600,275	1,044,408	65.3%
17	十ノ木・上夜須	801,984	453,988	56.6%
18	夜須川・細川・国光	695,643	402,999	57.9%
19	羽尾	134,915	73,671	54.6%
20	手結山	781,247	491,765	62.9%
	合計	23,603,141	15,201,256	64.4%

アンケート集計 (1)

6

アンケート回答者（農地所有者、農業者）の年齢構成

- 回答者（農地の所有者、農業者）皆さま全てが60歳以上の状況である。



アンケート集計 (2)

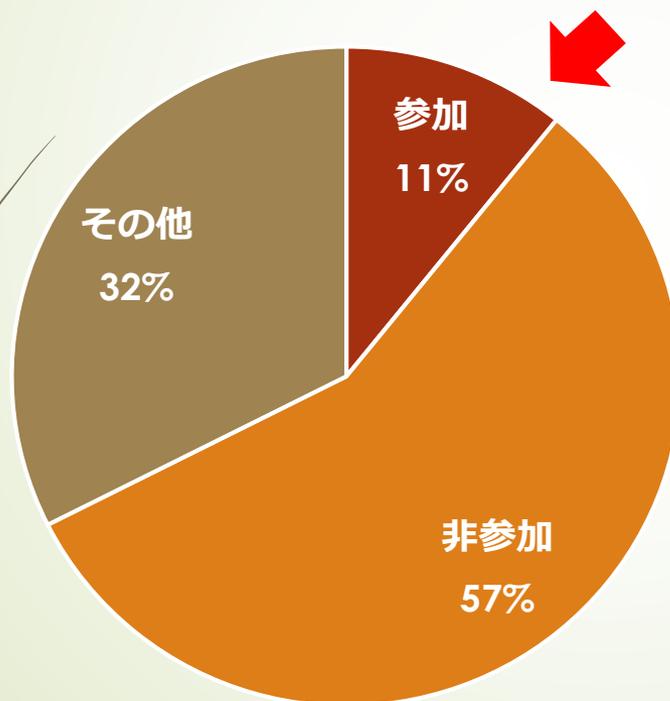
地域会合への参画意向

7

話し合いへの参加希望 (取組に対する意見等)

- 回答者の11%は地区会合に参加を希望されている。
- 参加辞退者には、高齢で出席を代理者に委託するケースや、自らで将来の事を考えるケースもあり。

会合への参加



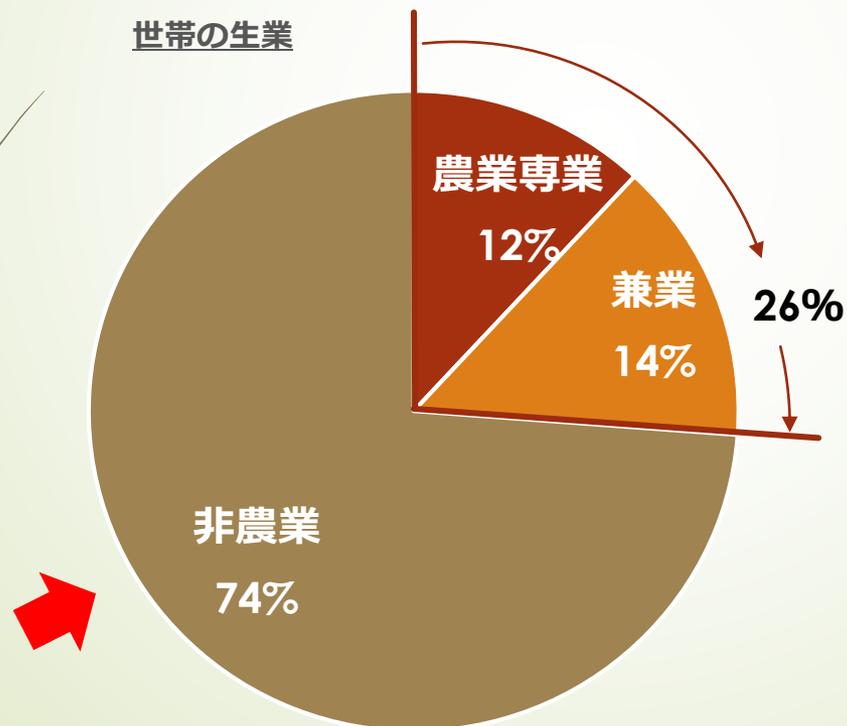
コメント:

- ・実弟の同席の上、地域の方針を決めてください。
- ・(取組については) 自分で考える。

設問への回答者数 : 37

Q1. あなたの世帯は、どのような世帯ですか？

- 専業、兼業合わせても農業を営む割合は26%となっている。
- 農業を営んでいない人は74%であった。（離農し他の職業へ、相続、高齢、施設入所、県外など遠方に転出：土地持ち非農家、等が推測される。）

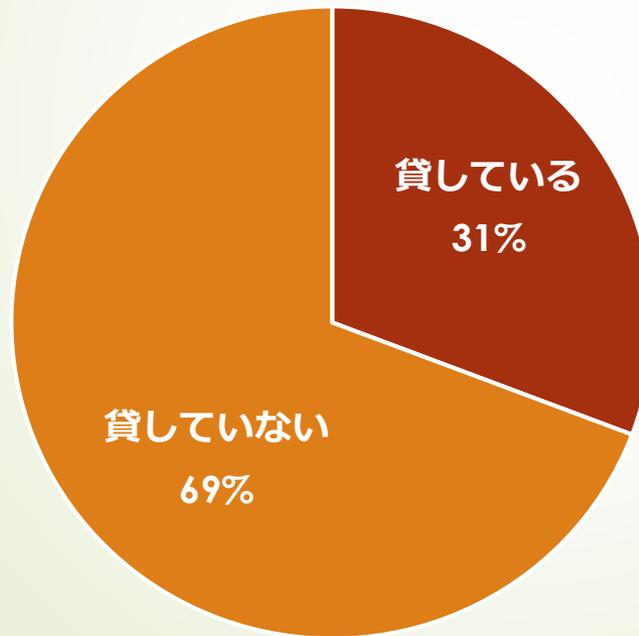


設問への回答数：42

Q2. 現在、人に農地を貸していますか？

- 現状で農地所有者の31%は農地を貸している。

農地の現状

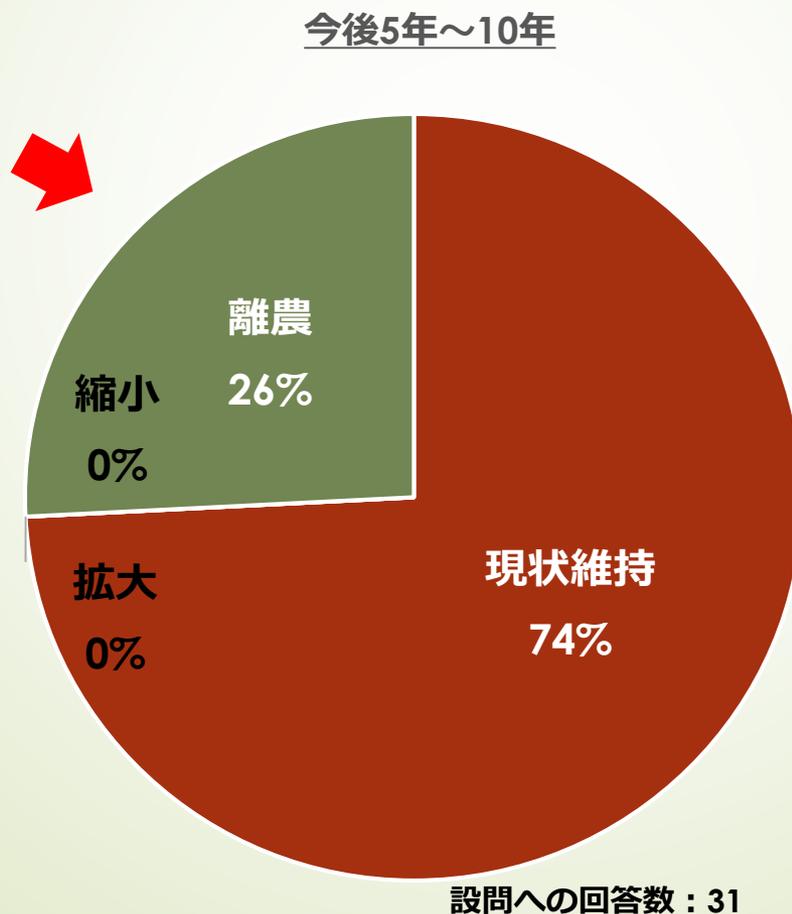


コメント：
・地域以外の人に貸している。

設問への回答者数：39

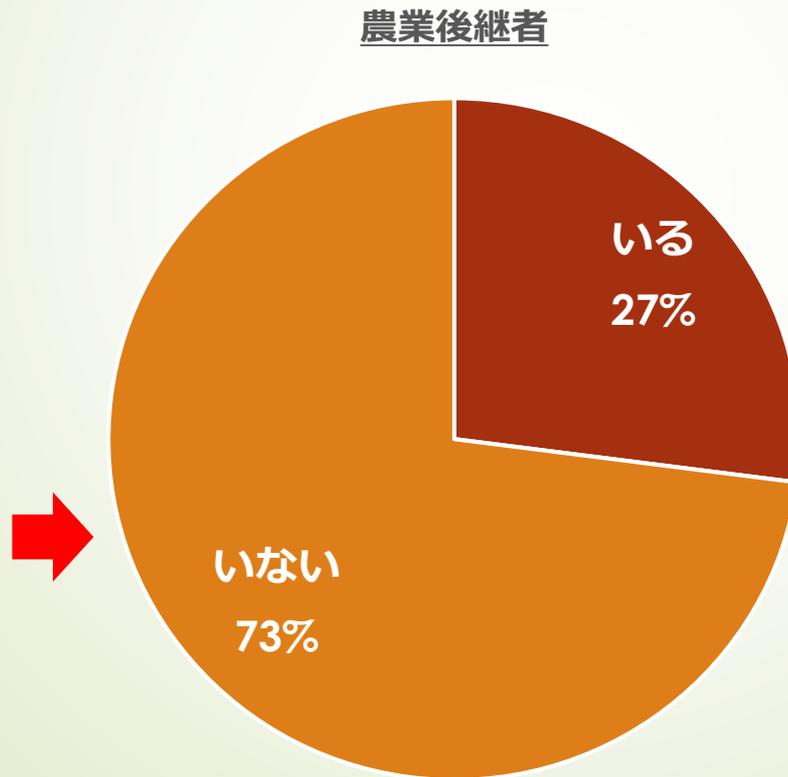
Q3. 5～10年後を考え、あなたはどのようにしていきたいですか？

- 今後も現状維持する、との意向が74%あった。
- 一方、農業を辞める（見込みも含め）との回答も26%あった。



Q4. 後継者（農業後継者）はいますか？

- 農業後継者のいない割合が73%あった。
- 将来的に後継者への継承も伺える。



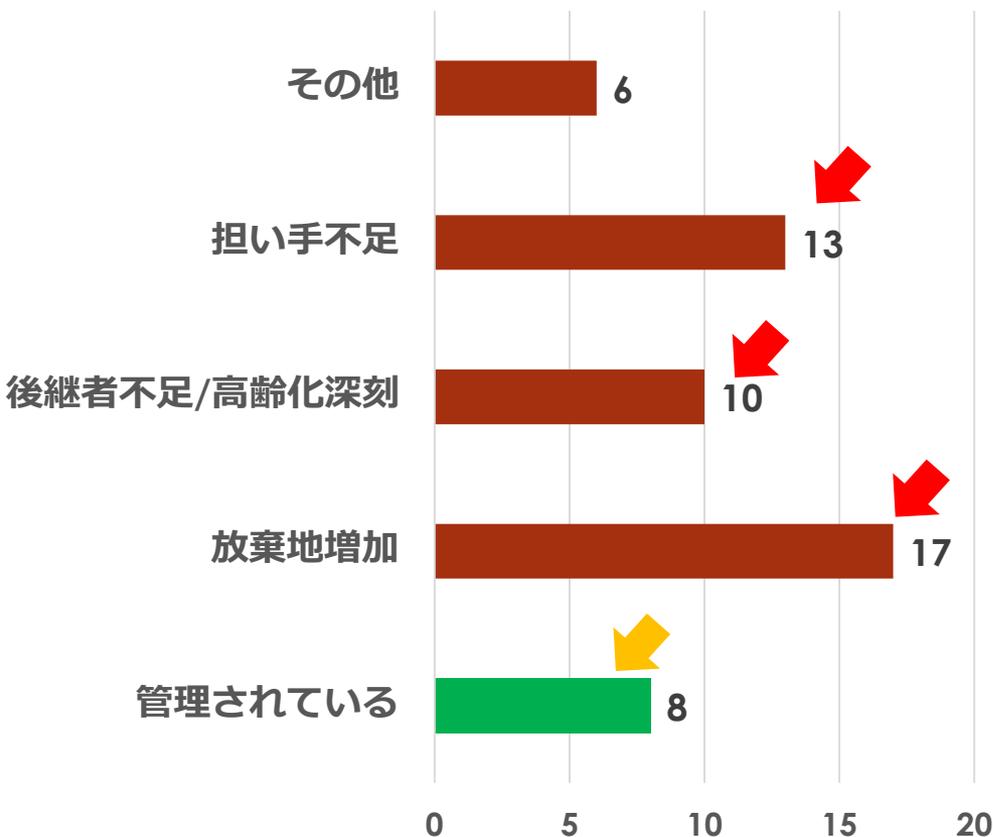
コメント

- ・ 息子が4月に定年退職するので、農地は管理されると思う。

Q6. あなたの地域の農地や農業者の状況は、いまどのようになっていますか？

- 放棄地の増加、担い手不足、後継者不足や高齢化しているとの認識が多い。
- 農地管理よりも、山林管理の課題が多そうである。

地域の農業者/農地の状況



設問への回答数：54

コメント：

- ・動物の数が住民の数より多いので耕作できない。4~5年位前から耕作ゼロである。
- ・当地域は既に廃れてしまっている。
- ・共有名後の土地で、残っている。現在は45年生位の山林となっている。その他は原野状態です。
- ・購入時植林後、約40~50坪の杉山林であります。
- ・農地はありません。全部山林です。
- ・農地から林地になっている。
- ・困っているのは山林です。
- ・山の手入れに行っているが、西日本豪雨にて橋が流され、手入れもままならない。早期に橋をつけていただきたい。
- ・親戚と共同作業。
- ・わからない。(2)

アンケート集計 (8)

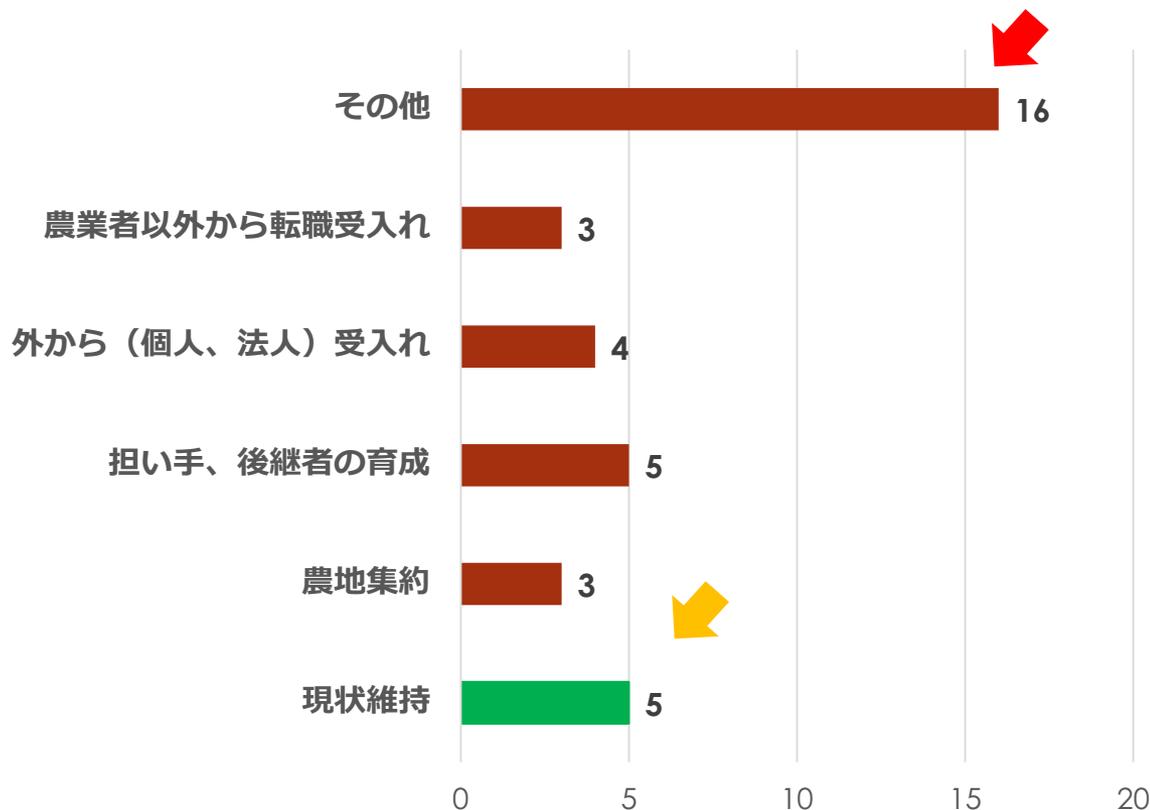
持続可能な農業のために

13

Q6. あなたの地域の農業が5~10年後も持続可能なものとするために、どうしたらよいと思いますか？

■ 現状では地域の農業を維持できる状況ではなさそうである。

持続可能な農業



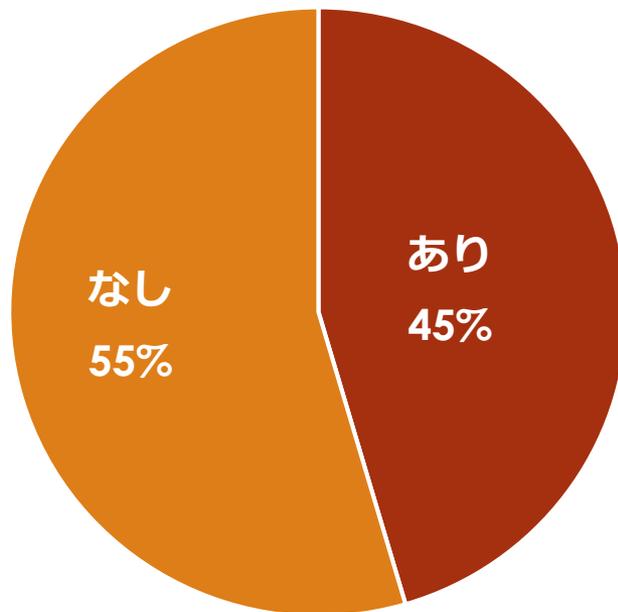
コメント

- ・わからない。(7)
- ・柚子の木の植え付け、及び杉の木の植え付け
- ・現状のまま

Q7. あなたの農地で、売ったり貸したりしてもよい農地やハウスがあれば教えてください。

- 売却希望の背景には、県外/市外に在住しており耕作地までが遠距離のケースなどがある。

売り貸し候補地



コメント

【売りたい貸したい】

- ・歩道、その周辺を整備されたいとの考えがあれば、申し出ください。地域貢献及び青少年育成の為なら、協力させてもらいたいと考えております。
- ・道がなく不便。
- ・（田畑ではなく）**全て植林**（してある。）

【売りたい】

- ・遠いところに住んでいるので何ともならない。

■ アンケートからの農地の売却・賃貸希望の背景概要

15

農業者側の事情

- 高齢化、体力・気力低下
- 所有者/借地者の病気
- 県外など遠方に在住
- 農機具を所有していない
- 他の仕事に専念
- 後継者不在/跡継ぎまで年数要
- 耕作者である借地人も高齢/後継者が居ない

農地を農地として管理できない。

耕作条件

- 小さい農地区画
- インフラ（農道/水路）不備
- 病害（生姜）/使用形態（養殖）

農地としての適性が低い。

農業の採算性

- 米づくりでは赤字、、山間部の農業経営困難

農業（稲作）を続けられない。

資産活用

- 生活費の捻出
- 事業の資金の調達
- 貸地としても経費（公租公課、水利）要

農業以外で資金需要がある。

賃貸

売却